路上工事の騒音対策に　　**騒音環境負荷低減製品**

多目的防音パネル（透明、吸音タイプ）

NETIS 登録番号　CB－080036－A、 登録年月日 2009年3月30日



吸音タイプで騒音と飛散物の対策養生

透明タイプで工事現場の透明性をＰＲ





囲って、騒音、飛散対策養生

建設工事で発生する作業騒音は特定建設作業としての、以下のような項目の順守が求められています。

1．　官民境界上、地上1.2mでの騒音値L_5（dB）は８５デシベル以下の事。
2．　作業時間帯の制約があります。
3．　低騒音型の機械の使用、工法を選定する事。
4．　騒音、振動、粉じんの飛散対策を講じる事。
5．　事前に周辺住民の理解を得ておく事。

しかし、いくら低騒音型の指定機械を使用しても、作業に伴って発生する騒音は近隣住民等に対して、大きな環境負荷となっています。作業騒音の発生元をこの多目的防音パネル（透明、吸音タイプ）で囲ったり(右下写真)、保安設備変わりに連続設置（上の写真、２枚）する事により、移動したりして発生する騒音を約１２ｄＢの低減する効果を得る事が出来ます。（下表、参照）

※騒音測定値はＬ5(dB)、音源から 7.5m、地上 1.2mでの測定値です。

多目的防音パネル（透明、吸音タイプ）の騒音低減測定結果

周波数分析結果



騒音測定結果

騒音対策	騒音レベル（L5、ｄB）	原音からの低減騒音（L5、dB）
未対策（作業騒音）	94.6ｄB	－
多目的防音パネル（吸音ﾀｲﾌﾟ）	81.8ｄB	-12.8ｄB
多目的防音パネル（透明ﾀｲﾌﾟ）	82.2ｄB	-12.4ｄB

使 用 及 び 安 全 上 の 注 意 事 項 に つ い て



使用上の注意

- 本製品は、地上に設置（高さ、１．５ｍ）する事により、発生する作業騒音の遮断、吸音を図る事を目的としております。騒音が漏れない様に以下の事に配慮して、この多目的防音パネルを設置するようにして下さい。
  - ① 連続設置する場合には、別売のベース材、単管パイプ、単管クランプを使用して各々の多目的パネル突き合せ面に隙間が生じない様にしっかりと固定して、パネルの安定性を確保してください。
  - ② 下部、端部、突き合せ部等に隙間が生じる場合には、遮音材、シート等で覆って、音が漏れない様に配慮して下さい。
  - ③ 自立させる際にパネルの安定性を図る為に、平坦で堅固な地盤を選んで下さい。
  - ④ 強風によるパネルの転倒には注意して下さい。１．５ｍ 毎に設置するベース材の両側に土嚢（１０kg）を置き、安定を図ってください。風速１０ｍ/秒以上では使用しないで下さい。
- 主要材料は、以下の材料を使用しています。直接に火炎、高温の排気ガス等にさらされますと変形したりします。必要な離隔を取って使用して下さい。
  - ① 遮音材（透明タイプ）：ポリカーボネート（t＝3mm）
    （吸音タイプ）：アルミ樹脂複合材（t＝3mm）
  - ② 吸音材（透明、吸音共）：ポリエステル繊維吸音材
  - ③ フレーム　：アルミ押出形材
- 本製品の寸法、重量は以下の通りです。透明タイプ、吸音タイプとも
  - ① 寸法　：高さ１．５ｍ、幅１．５ｍ（収納時は折りたたまれて、０．７５ｍとなる）
  - ② 重量　：１３kg/セット

ベース材寸法、　重量：5.5ｋｇ
4.5ｔ×200×700
42.7φ×300

単管クランプ
Ｍ１０ボルト（左）, Ｍ８ボルト（右）





- 本製品を使用する際には、取扱説明書をよく読んでご使用して下さい。



作業上の注意

- 現場での作業時は、適切な保護具（ヘルメット、手袋等）及び施工器具（単管クランプの締め付け時には１７ミリ、１３ミリのスパナ、レンチ）を使用して下さい。
- 本製品の部材切断部は鋭利となっている場合がありますので、手を切らないように注意して下さい。
- パネルが開閉しますので、開閉部に手を入れない様に十分に注意して下さい。



その他

- 本製品の仕様・形状は、改良のため予告なく変更する場合があります。

製品開発企画　：大有建設株式会社　製品販売事業部　ＴＥＬ：052-881-1657
製品開発製造元　：積水樹脂株式会社

■ 販売店